



# プログラム 8月31日(金) 2Fホール

開会式 10:00 ~ 10:15

---

---

代表世話人挨拶

稲葉 吉隆 (愛知県がんセンター中央病院 放射線診断・IVR部 部長)

特別挨拶

対馬 義人 (群馬大学大学院医学系研究科 放射線診断核医学講座 教授)

当番世話人挨拶

宮崎 将也 (群馬大学大学院医学系研究科 応用画像医学講座 特任准教授)

## 一般演題1 「動注リザーバー①」 10:15 ~ 10:45

---

---

座長 生口 俊浩 (岡山大学病院 放射線部)

01 System-i を用いた DEB-TACE・全身化療併用治療が有用であった二次化学療不応性大腸癌肝転移の1例

高木 聡 (長岡赤十字病院 放射線科)

02 全身化療抵抗性の食道癌肝転移に対する肝動注化学療法

関 裕史 (新潟県立がんセンター新潟病院 放射線診断科)

03 リザーバー肝動注継続のための医療連携 -A case report-

新槇 剛 (静岡県立静岡がんセンター IVR科)

## 一般演題2 「動注リザーバー②」 10:50 ~ 11:20

---

---

座長 新槇 剛 (静岡県立静岡がんセンター IVR科)

04 肝動注リザーバー留置術における患者被ばく線量調査

関 優子 (群馬大学医学部附属病院 放射線部)

05 Syngo iFLOW を用いたリザーバー肝動注療法の肝動脈狭窄による血流低下の定量化

松本 武士 (奈良県立医科大学 放射線科・IVRセンター)

06 いわゆる肝動脈3本ばらばら例をモデルとした肝動脈間吻合に関する検討

松枝 清 (がん研有明病院 画像診断部)

## 一般演題3 「肝動注リザーバーHCC①」 11:25 ~ 11:55

---

---

座長 松枝 清 (がん研有明病院 画像診断部)

07 バスキュラープラグを用いて GDA 先端固定法で留置した肝動注リザーバーカテーテルが抜去不能となった1例

松井 裕輔 (岡山大学病院 放射線科)

08 肝動注リザーバー療法により肺転移が消失した1例

上嶋 一臣 (近畿大学医学部 消化器内科)

## 09 大腿動脈アプローチ型 System-i におけるハイフロータイプ「レオニスムーバ」の使用経験

板野 哲（久留米中央病院 消化器内科）

### ランチョンセミナー 1 12:10～13:00

---

座長 阪口 浩（南和広域医療企業団南奈良総合医療センター 放射線科 部長）

講演 「安心・安全なCVポート；こんな留置方法いかがですか？」

花輪 真（市立旭川病院 放射線科 診療部長）

〈共催：東レ株式会社／東レ・メディカル株式会社〉

### 研究会企画「肝動注リザーバー療法に関するガイドライン」作成プロジェクト報告 13:10～14:10

---

座長 上嶋 一臣（近畿大学医学部 消化器内科 講師）

稲葉 吉隆（愛知県がんセンター中央病院 放射線診断・IVR部 部長）

講演 「肝動注リザーバーの現況について」

稲葉 吉隆（愛知県がんセンター中央病院 放射線診断・IVR部 部長）

「日本IVR学会におけるガイドライン」

山上 卓士（高知大学医学部 放射線医学教室 教授）

「今回のガイドライン草案のアウトラインについて」

米虫 敦（関西医科大学総合医療センター 放射線科 診療講師）

「評価委員の立場からみた本ガイドラインの位置付け」

曾根 美雪（国立がん研究センター 中央病院 放射線診断科 医長・IVRセンター長）

コメンテーター

新槇 剛（静岡県立静岡がんセンター IVR科）

岩本 英希（久留米大学医学部 消化器内科）

小尾 俊太郎（帝京大学ちば総合医療センター 内科）

佐藤 洋造（愛知県がんセンター中央病院 放射線診断・IVR部）

田中 利洋（奈良県立医科大学 放射線科）

松枝 清（がん研有明病院 画像診断部）

森口 理久（京都府立医科大学 消化器内科）

### 一般演題4「肝動注リザーバーHCC②」14:15～14:45

---

座長 高口 浩一（香川県立中央病院 肝臓内科）

10 System-iを用いて短期反復IVRを行った進行肝細胞癌症例の初期検討

小岡 洋平（八戸赤十字病院 消化器内科）

11 局所進行肝細胞癌に対する肝動注リザーバーと分子標的薬剤の費用対効果分析

渋谷 圭（群馬大学医学部附属病院 画像診療部）

- 12 進行肝細胞癌に対する陽子線および炭素イオン線を用いた肝動注化学療法同時併用粒子線治療の治療成績  
寺嶋 千貴（兵庫県立粒子線医療センター 放射線科）

## 一般演題5 「肝動注リザーバーHCC③」14：45～15：15

---

- 座長 板野 哲（久留米中央病院 消化器内科）
- 13 高度脈管侵襲を伴う進行肝細胞癌に対する New FP 療法の意義  
岩本 英希（久留米大学 内科学講座消化器内科部門）
- 14 Child-Pugh A の進行肝細胞癌（BCLC stage C）に対する low dose FP 療法の治療成績  
佐藤 洋造（愛知県がんセンター中央病院 放射線診断・IVR 部）
- 15 進行肝細胞癌に対するリザーバー肝動注療法、治療適応制限後の成績  
佐藤 新平（佐々木研究所附属杏雲堂病院 消化器肝臓内科）

## 特別企画 「with リザーバー①」15：25～16：35

---

- リザーバー療法と”with できる”肝がんに対する最新局所療法
- 座長 関 裕史（新潟県立がんセンター新潟病院 放射線診断科 副院長）  
曾根 美雪（国立がん研究センター中央病院 放射線診断科 医長・IVR センター長）
- 講演 「肝がんに対する経皮的凍結療法」  
宮崎 将也（群馬大学大学院医学系研究科 応用画像医学講座 特任准教授）
- 「肝がんに対する重粒子線治療」  
渋谷 圭（群馬大学医学部附属病院 重粒子線医学センター・放射線科 助教）
- 「肝悪性腫瘍に対する穿刺治療の進化－PEIT, RFA、そしてマイクロ波凝固の時代へ」  
石川 達  
（社会福祉法人 恩賜財団 済生会支部 新潟県済生会 済生会新潟第二病院 消化器内科 部長）

## 一般演題6 「CVポート①」16：40～17：20

---

- 座長 竹内 義人（市立福知山市民病院 放射線科）  
浅井 望美（国立がん研究センター中央病院 看護部）
- 16 抜去困難な前腕留置の CV カテーテルに感染をきたし、外科的部分摘出を施行した一例  
濱野 亮（岩手医科大学附属病院 放射線医学講座）
- 17 当院におけるカニフォーク型硬性器具（橋本式カテーテルロック）を用いた CV ポート留置術の工夫  
橋本 忠通（橋本病院 外科）
- 18 CV ポート留置術における TCI ポンプを用いたプロポフォール鎮静の有用性  
西森 英史（札幌道都病院 外科）
- 19 まれな代替経路を用いた2例  
竹内 義人（市立福知山市民病院 放射線科）

## イブニングセミナー 17:30～18:20

---

座長 熊田 卓（大垣女子短期大学 看護学科 教授）

講演 「肝細胞癌における分子標的治療-レンバチニブを実臨床でどう使うか-」

小尾 俊太郎（帝京大学ちば総合医療センター 内科 病院教授）

《共催：エーザイ株式会社》